

問 将来を担う若い世代の合意を

答 若い世代だけでなく全世代に



佐藤 仁志 議員 新しい風やとみ

公共施設の個別計画で定めた長寿命化や、予防保全農地保全を目的とした県営事業	約17億8000万円
弥富駅自由通路整備事業	約7億円
鎌倉線の整備	約38億4000万円
その他道路橋梁など経路的に行うべき工事費	約3億6000万円
その他道路橋梁など	約29億3000万円

▲中期財政計画における投資的事業

○弥富市最大の投資事業、弥富駅自由通路・JR橋上駅舎化が、若い世代に説明し意見を聞き同意を得ているか、以下を問う。

問 若い世代の何割が、この事業の内容と費用負担額を理解し合意していると考えているか。

答 (建設部長) 第2次弥富市総合計画の主要施策など将来計画に位置付け、議会に報告し、議決を経て、市の方針として整備を進めている。

問 若い世代にとって、山積する課題の中で弥富駅自由通路・橋上駅舎化を最重要課題として選択すると考えているか。

答 本市の重要課題として第2次弥富市総合計画の主要施策に掲げ、鉄道事業者との協議を重ね、議会に報告し、議決を経て市の方針として整備を進めている。

問 市の予算編成を30代から40代の職員が中核となるように改善し、活気とスピード感を出して、市の組織の若返りを。

答 (総務部長) 予算編成は全世代の職員が一丸となって活躍していると考えている。

問 若い世代にまちづくりを託せ

答 更にスキルを身につけて取り組む

問 次の総合計画策定作業の前に、地区別の地域づくり・地域振興計画を検討し策定すべきでは。

答 後期基本計画策定の基礎的資料とするための市民アンケートで、平均的に意見が集まったので、地区別の策定は考えていない。

問 自治会活動などを支援する「地域活動団体などの活動拠点施設」の進捗は。

答 (市民生活部長) 一年以内に工事完了予定。令和7年4月「やとみっけベース」の一部業務をプレオープンしていく計画。

問 みんなの話し合いを促進し意見をまとめていくファシリテーター人材を、中学生以上を対象に養成し世代交代を進めては。

答 令和6年に設立したNPO法人ヤトミーティングが核となり、市民を巻き込みながらワークショップを開催できるのではと考えている。



▲やとみっけベース

